

山形県社会福祉事業団広報紙

# かざぐるま

ひと 未来 輝いて

2008 March

NO.83



鶴峰園オリジナルはし入れ・エコバック

特集

## 山形県社会福祉事業団将来構想懇話会の報告について

研究推進事業の取り組み

鶴峰園利用者「林家木久扇」命名 3万377通より決定

Vプレミアリーグ女子山形大会招待

オリジナルはし入れ売上金寄付

「障害者福祉計画」における新たな「重点施策実施5カ年計画」の策定

エリアフリー・フォーラム2007 夢のまんま。音楽祭

# 「山形県社会福祉事業団 将来構想懇話会報告書」 理事長へ提出

山形県社会福祉事業団は、法人設立以来、県立福祉施設の受託運営を中心とした事業を行い、県民福祉の増進に努めてきました。

近年、地域社会や家族機能が大きく変化し、福祉サービスに対する利用者ニーズが増大、多様化する中で利用者の視点に立った様々な法改正や制度改正が行われ、施設福祉から地域福祉へと急激な環境変化が起こっています。

そんな中、山形県社会福祉事業団は、今後、どのような役割を担うべきか、また経営体としての事業団のあり方等、中長期の将来展望を構築するため、平成19年1月18日東北福祉大学教授 小笠原浩一氏を会長に第三者委員6人で構成する「山形県社会福祉事業団将来構想懇話会」を設置しました。

平成19年8月末まで5回の懇話会を開催し専門のお立場から活発な議論を重ね「山形県社会福祉事業団将来構想懇話会報告書」としてまとめていただき、平成19年11月24日事業団理事長 佐竹栄一に提出していただきました。

## 報告書の概要について

### I 事業団の将来を展望すること

山形県社会福祉事業団は、国や県の福祉施策及び利用者や地域ニーズに沿い先駆的に事業の開始や拡充に取り組んできたが、今後は障害者自立支援法の施行に伴い市町村との関係を重視するとともに将来を構想し、目標を設定しその目標を実現するための課題を共有、共感することから始める必要がある。

### II これまでの事業団と これからの事業団

#### 1 事業団の構造的課題への対応

これから10年間で総合職402人の内、過半数以上が退職を迎え、組織や業務の維持発展を図る上で専門職員の不足が懸念される。

今後、事業団は、県民や利用者ニーズにどれだけ密着した事業を展開していけるかが問われ、それに応える次の時代を担う人材の確保と育成が重要かつ深刻な課題と考える。

#### 2 指定管理制度の活用

当面は、指定管理者制度に基づく経営が現実的であると考え。第2期目の指定管理者受託についてもネットワーク経営を行い、効率化、弾力化を図り、それぞれの施設が自立を高めるとともに、利用者や地域との関係をさらに密にして、地域の核になりリードできる人材を育てながら新しいタイプの地域密着型経営を目指し、経営改革を行い次期指定管理者制度に備える必要がある。

### III 新しい事業団の経営目標の整理

事業団の役割は、第1種社会福祉事業関連の基本施設について公設民営で基盤整備し地域の福祉力の向上に寄与するところにあった。

しかし、福祉環境が激動する今日、障がい者福祉と老人福祉にかかる事業が、医療との連携の中で実施されることが考えられ、今後は予防事業、地域生活移行事業、地域生活者を支援する生活支援センター事業、相談支援事業等、地域の中で複合化されたニーズが増えることが予想されトータルの事業展開を実施することが望ましい。

事業団には多くの専門職員がおり、人材を活用しサービス資源の開発や地域ニーズに対

応する事業を構築し、施設が地域福祉のベースキャンプ的役割を担えるような中核的機能を持ち、地域に根を張ることが重要である。

### IV 事業団の今後の基本的な方向

#### 事業構成

1. これまでの事業を継承しながら、費用対効果を考え事業を検証し、中長期的計画をたて今後の事業展開を進めていく必要がある。

また、利用者サービスの質を高めるために第三者評価の導入も検討すべきである。

2. 精神障がい者分野においては、地域生活移行促進に取り組むとともに、居住の場、日中活動等の受け皿づくりを展開する必要がある。また、障がい者が在宅生活を続けていくためには、生活支援センターの設置が望まれる。





3. 地域において保健・医療・福祉の連携を進めるコーディネーター役としての機能を担い、人や組織間のネットワークづくり等、地域連携システムのモデルづくりに貢献していく必要がある。
4. サービス資源が不足している福祉圏域に相談支援事業やグループホーム設置等、地域における拠点サービス事業を展開し、サービス資源の地域格差是正に取り組むことも事業団の役割の一つと考える。
5. 障がい者及び介護老人福祉分野においてターミナルケア、緩和ケア、末期療養等が不足してくると思われ、医療団体や地域療養の方々と積極的に連携を図り事業展開を行う。
6. 民間施設では取り組みにくい事業やネットワーク構築に係る事業などは、関係機関と連携を図りながら積極的な情報発信や政策提言など、県民福祉向上のための取り組みを行う。



将来構想懇談会 委員

## V 目標を実現していくための法人としての条件

### 1 人材育成の強化

#### (1) 職員採用計画について

団塊世代の大量退職により、次の組織を担う人材に不足が生じることから、長期的視野に立った職員採用計画を策定し人材戦略の多角化を図り、地域に密着した職員採用を考慮していくとともに退職者の活用も検討する。

#### (2) 研修体制の整備

地域福祉でも施設福祉でも多様な環境に対応でき質の高いサービスを提供できる人材を育成する。

#### (3) 有効な人事手法の実施

有望な若い職員が正当な評価を受け、仕事にたいするモチベーションを高め、中核職員を育成するためにもできるだけ早い時期に適切な人事手法を実施し、人事管理を行う必要がある。

また正規職員と非正規職員の役割を明確にして能力や責任等を反映できる給与体系や組織のあり方を検討する必要がある。



佐竹理事長

小笠原 東北福祉大学教授

### 2 安定した経営体質の確立

#### (1) 理事会・評議委員会の機能

理事会は、経営上の重要事項について判断を行う実質的な執行機関として体制を整備し経営責任の範囲を明確にする。また評議委員会は、業務執行の公正、法人運営の適正に関し参画を強めてもらう必要がある。

#### (2) 経営企画機能

法人全体の経営目標（1 サービスの質の向上、2 法人の社会機能の強化、3 財務基盤の安定化、4 人材育成、5 人事制度、6 法人の組織強化）の6領域にわたり具体的目標を策定し、各施設においても法人と連動した施設目標を作ることにより関係強化を図ることが重要である。

また法人の経営は、指定管理者制度に基づく経営であり、県民の税金である。費用対効果が求められ最小限の経費で最大の効果を目指す必要がある。

#### (3) 経営基盤の強化

事業ごと利用率などの数値目標の設定や経費削減策の数値目標を設定して基盤整備

を図る。施設長や幹部職員は、その進捗管理を行い、経営状況を瞬時に判断できるように経営管理能力の醸成を行なう。

また、事業団の3～5年後を見据えた事業内容、組織機能、職員体制、給与体系等、中長期経営プランを策定する必要がある。

### 3 老朽施設の改築について

現在、管理運営している施設は、改築された3施設を除き、昭和47～昭和53年に建てられた施設であり、老朽化が進んでいる。居室は4人～6人の多床室でプライバシー保護や精神的安定面からも課題があり、個室化やユニット化等への対応が必要である。利用者の「ふつうの生活」を考えると改築が喫緊の課題となっている。

県立施設の改築は、県が責任を持って進めていくことは当然のことであるが、施設を管理運営している事業団は、利用者に代わり改築について県に強く求めていくべきである。

以上、報告書の概要であるが組織、事業、経営、人材等、広い分野について貴重な提言をいただきました。

山形県社会福祉事業団は、この「報告書」を参考に今後、事業団が担っていく役割や経営体としてのあり方等、将来を見据えた新たな事業団ビジョンを作成する予定です。



## 研究推進事業 実践研究・福祉QCの取り組み

事業所における主体的な実践研究の取り組みを通して、職員の課題発見、問題解決能力を高めるとともに、福祉制度の変革に対応した職員意識の改革と専門スキルの向上を人事育成に結びつけます。  
 具体的には、利用者に対するケアワークやケースマネジメントの向上、事業所が掲げた重点事業や新規事業の取り組み、福祉QC手法を活用した課題解決へのアプローチなど、実践してきた一連の流れを実践報告としてまとめ、実践報告会で発表をします。  
 また、取り組みの成果を積極的に情報提供するため、年度末に実践報告集を発行し実践の検証と普及を通して福祉サービスの向上に寄与します。

事業所名	研究種類	取組年数	テーマ
みやま荘	福祉QC	単年度	外出しましよPART2
みやま荘	実践報告	単年度	みんな一緒～北谷地小学校との長期交流について～
泉荘	実践報告	単年度	食事サービス部門の機能を活用した職業訓練の実施について
松満荘	福祉QC	単年度	身体拘束ゼロ作戦
松満荘	実践報告	単年度	職員の意識改革～排泄について～
寿泉荘	福祉QC	単年度	排泄のバーコード入力ミス無くそう
福寿荘	実践報告	単年度	嚥下障がいケアの改善をめざして
大寿荘	実践報告	単年度	在宅で腹膜透析をしている方とその家族のために
梓園	実践報告	単年度	摂食・嚥下障害についての取り組み
鶴峰園	実践報告	単年度	地域生活移行推進事業に取り組んで～地域に暮らす・地域と暮らす～
ワークショップ明星園	実践報告	単年度	楽しい食事を旨して～食事サービス委員会の取り組み～
吹浦荘	福祉QC	単年度	元気の源は朝食から
慈丘園	実践報告	単年度	ケアホームの支援体制について～本体施設からの配食サービスを中心として～
希望が丘診療所	実践報告	単年度	リハビリに関わる情報の共有化について～PTとリハビリ職員との連携～
希望が丘地域福祉支援センター	実践報告	4年	地域生活者の医療、健康管理の支援の経過について
希望が丘あさひ寮	福祉QC	単年度	居室をできるだけ機能的につかう。
希望が丘こだま寮	実践報告	3年	地域生活に向けての生活習慣病予防の取り組み
希望が丘しんざき寮	福祉QC	単年度	非常災害に対する認識を高めよう。
希望が丘まつのみ寮	実践報告	単年度	処遇困難ケースの取り組みについて
希望が丘ひめゆり寮	実践報告	3年	イエロー・リンリンカード
希望が丘ひめゆり寮	福祉QC	単年度	オムツ代を節約しよう。
庄内障害者就業・生活支援センター	実践報告	複数年	福祉的就労から一般就労へ～就労継続支援（雇用型）利用者の支援～
村山障害者就業・生活支援センター	実践報告	単年度	
サポートセンターゆあす	実践報告	単年度	長く働きつづけることを支えるために
置賜障害者就業・生活支援センター	実践報告	複数年	相談支援の取り組みと現状
サポートセンターおきたま	実践報告	複数年	
サポートセンターういんず	実践報告	単年度	しょうがいのある方の一般就労支援体制
サポートセンターあおぞら	実践報告	複数年	北庄内地区の相談支援事業の現状と課題
サポートセンターあすさ	実践報告	複数年	地域生活支援の実際～「自分らしく生きたい」によりそって～

### 実践報告会開催

2月27日山形県産業創造支援センター（山形市）に於いて実践報告会を開催しました。事前選考された福祉QC部門3題・実践報告部門5題の発表があり、聴講者は発表内容を参考にして所属施設で取り入れ吸収しようと活発に質問意見交換がなされました。



## 3万377通の応募から、木久蔵あらため新芸名 林家 木久扇に決定！

命名者 鶴峰園 菅原 久さん おめでとう!!



長男林家さくおさん（31）が父の名を受け継いで2代目木久蔵を襲名するのに伴い、レギュラー出演している日本テレビ系「笑点」を通して2006年10月から2007年3月まで一般公募していました。ネットで2万2470通、はがきで7907通の計3万377通の応募があり、ネットで2通投稿のあった「木久扇」が選ばれました。木久蔵さんは「扇が広がって大きく羽ばたく、落語界を包み込んでリードする名前。センス（扇子）につながる」と選んだ理由を説明しています。

### 菅原久さんへのインタビュー

#### Q.応募の動機は何ですか。

A.同じ所属している印刷料の周りの方より、「木久蔵さんの新芸名、募集しているから一緒に出してみようや」といわれ、軽い気持ちで応募しました。

#### Q.名前はすぐに決められましたか。

A.私は、根が凝り性なので色々悩みました。まず、「キクオウ」という読みになりそうだという記事があり、「ふざけた名前にしよう」という気持ちは消え、この読みに字を当てていきました。

#### Q.「木久」は木久蔵さんからとったのは分かりますが、「扇」はよく考えましたね。

A.「木久」はやはり思い入れのある響きなのでそのまま使おうと思いました。「おう」を色々当てはめましたが、「木久王」ではなんか締りが悪く、「木久皇」では硬い気がし、噺家は扇子を使うというので、「木久扇」とあてて応募しました。

#### Q.命名後ショックなことがあったとか？

A.木久扇師匠が、ある日、笑点大喜利回答で「木久扇の名前もそろそろ飽きてきて～」と言ったのを聞いて。命名者としては「はあ～あ、笑うに笑えないような…」気持ちでした。

#### Q.全国で二通の中に選ばれた感想を聞かせてください。

A.噺家さんのしかも一門の師匠の名づけという大役を頂戴し、一生の誇り、いや落語だから「一笑」の誇りになりました。もう名前は私からある意味離れ、いずれ息子さんの2代目木久蔵さんが「二代目」を襲名する日を願っています。

笑点：日本テレビ系列毎週日曜日17：30～18：00放送

# 感謝

## Vプレミアリーグ女子山形大会招待

山形県総合運動公園総合体育館2008年2月2日・3日開催

東北パイオニア株式会社様より2月2日・3日招待を受け、当団体の他、心身障がいの方43施設308名の招待を受けました。事業団ではみやま荘、希望が丘こだま寮の2施設30名が試合観戦をしました。

今期Vリーグ県内開催は初ホームゲームのため、待ちかねたファン4000席は満席で、パイオニアレッドウィングスのレッドカラーの法被を身にまとい体育館が試合開始前から熱気に包まれておりました。1点はいるごとにチャリダー応援合戦で気分が盛り上がり、招待を受けた利用者は、国内最高リーグの技術と迫力に触れたひとときを過ごしました。



## ありがとうございます。 オリジナルはし入れ製作売上金寄付

オフィス用品再生販売アイ・タックル様（天童市）から5万8千円の寄付を受けました。

同社はマイ箸運動に取り組み県内の障がい者授産施設にオリジナルはし入れの製作を委託している。同社は売り上げ一枚につき20円を各施設に寄付する取り組みをしており、事業団ではワークショップ明星園、鶴峰園がオリジナルはし入れ製作を受託している。

平成20年2月21日、明星園と鶴峰園の2千9百枚分として、水沢社長が事務局を訪れ佐竹理事長へ寄付を手渡した。寄付金は授産振興に活用させていただきます。ありがとうございます。



表紙写真はオリジナルはし入れです。

# レキシコン

【レキシコン】  
lexicon：ギリシャ語・ラテン語・ヘブライ語の辞典。

## 「障害者基本計画」における 新たな「重点施策実施五か年計画」の策定

国は、昨年十二月、障害者基本計画に基づき平成二十年度からの五年間に重点的に取り組む後期の五か年計画を策定した。

障害者基本計画は、平成十四年に策定され、前期五年間で発達障害者支援法の制定や特別支援学校制度化、障害者自立支援法の制定など障がい者福祉施策にとって大きな変動の時期であった。

今回の計画の特徴として、生活支援の項目の中では、地域自立支援協議会を中心とした相談支援体制の充実と障害福祉サービス等の計画的な基盤整備及び地域移行の推進が掲げられている。訪問系及び日中活動系サービスの計画的整備とグループホーム等の拡充の一方で、福祉施設入所者や精神障がい者入院者数の減を数値目標化している。

生活環境の項目では、住宅・建築物のバリアフリー化の推進が掲げられ、高齢者の住宅や官庁施設、旅客施設や車両、公園や駐車場など幅広い分野での目標値が設定された。

教育・育成では個別的教育支援計画策定率の向上、雇用・就業面では、雇用障がい者数を五年後六十四万人とし、地方公共団体等におけるチャレンジ雇用や公的機関での雇用の促進を図ることとしている。今後精神障がい者の雇用や短時間労働、農業法人等への関連施策が充実するものと思われる。

これら各種施策は、内容を見る限り障害者自立支援法の趣旨と方向性、そして障害福祉計画と密接に連動している状況にある。言葉を変えれば、この計画が確実に目標達成できるかどうかは市町村の力量ということになる。この五か年計画の副題が「障がいの有無に関わらず国民誰もが互いに支えあい共に生きる社会へのさらなる取り組み」にあるように、障がい者が暮らすその地域に必要なサービスや支援体制が充実するためにも、当事者や関係者の声を政策に生かすための具体的な取り組みが望まれる。



♪♪ 信じよう！音楽の力、伝えよう！君の想い。  
エリアフリー・フォーラム2007 夢のまんま。音楽祭

エリアフリー・フォーラム2007は、昨年に引き続き、音楽をテーマに、平成19年11月3日、山形テルサを会場に開催されました。障がいの枠を越え、出演者も会場の皆さんも一体となった音楽祭となりました。



「マーシありがとう(盲導犬賛歌)」  
ゲスト 里見しのぶ氏  
「お話とピアノの弾き語り」ゲスト 前川裕美氏  
集まれ音楽仲間「世界でひとつだけの歌発表」  
●エイブルアート展示 ●人権啓発活動  
●授産製品展示販売コーナー  
●社会福祉施設情報コーナー



山形県社会福祉事業団の皆様  
DVDと応募の歌詞集大変ありがとうございました。あらためて、DVDを見せてもらいまして、音楽祭の素晴らしさが、昨年よりも、大変進歩したと思います。ゲストも、ゲストのメッセージも心に響きました。私も当事者で、同じ立場の人間ですけど、障害を持っていても、やさしくて、強い人がいる事が、音楽祭の歌に、強く感じられました。障害者をサポートする人々も、大変な仕事だと痛感いたしました。私自信、詩や歌詞を書きためて、いろんな機会にお送りいたします。どうぞ募集して下さい。詩も歌も、生きる事に重要な楽しみと感じました。夢満開の、「夢のまんま。音楽祭」を望みます。「夢のまんま。音楽祭」で、未来に開いて、咲きましょう。歌に絆を感じます。有難うございました。  
2007.12.28 福建(フッキー)  
(エリアフリー・フォーラム2006の歌詩入選者の方よりお手紙をいただきました。)

- 世界でひとつだけの歌 入選作品
- 笑顔  
作詞:猪俣 実 作曲:きむらいずみ 編曲:小林康浩
  - ほんの少しの勇氣  
作詞:kankoro 作曲:長谷川昌宏 編曲:NO-SIDE
  - 言葉のはじまり  
作詞:櫻井映見 作曲:炸十郎
  - 自分らしく  
作詞:東海林昭二 作曲:亀田裕司 編曲:小林康浩
  - 夢へのとびら  
作詞:押切圭子 作曲:来未(くるみ) 編曲:佐藤美香

湯 っ くり、のんびり

あつみ温泉について少々…。新潟県との県境近く、庄内浜の南に位置し、千年の歴史をもつ温泉です。温泉地内には共同浴場が3ヶ所、飲泉所が2ヶ所、最近整備された足湯が3ヶ所あります。飲む効能としては、胆石、胃腸弛緩症、尿結石、金属中毒症、慢性便秘、じんま疹に効くとされています。  
3ヶ所の足湯はそれぞれ「あんべ湯」、「もっしえ湯」、「もっけ湯」と名づけられており、そぞろ歩きのコースとして楽しめます。  
当荘は温泉の奥座敷にあり、お湯は源泉「かけ流し」、お食事は手作り料理をご用意しております。大広間での夕食は利用者の方々のふれあいの場としてたいへん喜ばれております。カラオケ無料です。!!



＜宿泊者対象イベントご案内＞  
4月桜のライトアップ、4月24日健康相談と体操(看護師)  
スタッフ一同皆様のご利用をお待ち致しております。  
施設紹介 ホームページアドレス <http://www.jyukaiso.jp/>  
ご意見承り メールアドレス [info@jyukaiso.jp](mailto:info@jyukaiso.jp)

山形県福祉休養ホーム あつみ温泉 **寿海荘** 〒999-7204 山形県鶴岡市湯温海字湯之里88-1  
**TEL:0235-43-4173**